みずほCustomer Desk Report 2019/10/04 号 (As of 2019/10/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	107.09
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.17	1.0961	117.44	1.2305	0.6709
SYD-NY High	107.29	1.0999	117.64	1.2413	0.6753
SYD-NY Low	106.48	1.0941	117.07	1.2266	0.6703
NY 5:00 PM	106.93	1.0965	117.23	1.2329	0.6742

NY DOW	26,201.04	122.42	日本2年債	-0.3200	▲1.00bp
NASDAQ	7,872.27	87.02	日本10年債	-0.2000	▲3.00bp
S&P	2,910.63	23.02	米国2年債	1.3901	▲9.19bp
日経平均	21,341.74	▲ 436.87	米国5年債	1.3473	▲8.68bp
TOPIX	1,568.87	▲ 27.42	米国10年債	1.5333	▲6.68bp
ｼｶｺﾞ日経先物	21,380	15	独10年債	-0.5900	▲4.00bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,077.64	▲ 44.90	英10年債	0.4700	▲2.90bp
DAX	-	-	豪10年債	0.9285	▲3.45bp
ﾊﾝｾﾝ指数	26,110.31	67.62	USDJPY 1M Vol	7.30	0.06%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.13	0.05%
NY金	1,513.80	5.90	USDJPY 6M Vol	7.20	0.08%
WTI	52.45	▲ 0.19	USDJPY 1M 25RR	-1.49	Yen Call Over
CRB指数	173.41	0.46	EURJPY 3M Vol	7.30	▲0.10%
ドルインデックス	98.90	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	7.55	0.00%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は107.17ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は、本邦株式市場が下落する中、107円台を割れて一時106.97をﾀｯﾁ。但し、実需の買いなどから下値は限定的となり、すぐに107円台まで反発。その後は同ﾚﾍﾞﾙで推移し、107.13ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、107.13ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。欧州時間午後に米指標を控え方向感はなし。107円あたりにﾃｸﾆｶﾙなｻﾎﾟｰﾄがあることもあり、107円ちょうどを挟んでのもみ合いに。106.87-107.29で取引され106.92ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.0952でｵｰﾌﾟﾝ。ECBのﾚｰﾝ氏がﾕｰﾛ圏のﾃﾞﾌﾚﾘｽｸは低いと発言したことから一時1.0974まで上昇する場面もあったが続かず、結局1.0957でNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2288でｵｰﾌﾟﾝ。英9月ｻｰﾋﾞｽ業PMIは予想を下回る節目50割れとなったが影響は限定的。むしろ昨日ｼﾞｮﾝｿﾝ首相がEUへ提示した離脱協定案の代替策を受けての期待感でﾛﾝﾄﾞﾝ正午あたりからﾎﾟﾝﾄﾞの騰勢が強まり1.2326まで買われ、1.2321でNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 神田)

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は、新規手掛かり材料が見当たらない中、107.10近辺で方向感無く推移。早朝にかけては米長期金利の低下を受けて、106.87まで下落し、106.92ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米長期金利が低下幅を縮小したことから107.12まで買い戻されるが、10時発表の米9月ISM非製造業指数が2016年8月以来の水準に低下し、市場の予想を下回ると、ﾄﾞﾙ円は売りで反応し、米金利の低下（2年債利回りは17年9月以来の水準をつける）とともに106.48まで急落する。しかし、米短期金利の低下に伴い、年内の追加利下げ観測が強まると、一時300ﾄﾞﾙ超安となっていたﾀﾞｳ平均がﾌﾟﾗｽ圏まで反発し、ﾄﾞﾙ円も106.95まで買い戻される。低調な米経済指標が続く中、107円台回復には至らず、明日の米雇用統計の発表を控え、様子見ﾑｰﾄﾞが強まると、106.90近辺で小動きとなり、結局、106.93ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、ﾕｰﾛ圏各国の9月ｻｰﾋﾞｽPMIが予想を下回ると1.0941まで下落する。その後、特段のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝは見当たらなかったものの、ﾕｰﾛの買い戻しが強まり、1.0974まで上昇し、1.0957でｵｰﾌﾟﾝ。朝方は1.0960近辺でのもみ合いでｽﾀｰﾄ。その後、米ISM非製造業指数の低調な結果を受けて、ﾄﾞﾙ売りが先行し、1.0999まで急上昇。しかし、ﾕｰﾛ圏でも景気後退懸念が台頭する中、1.10ﾚﾍﾞﾙの上抜けはできず、反落。ﾀﾞｳ平均がﾌﾟﾗｽに転じる動きを横目にﾄﾞﾙが買い戻される中、午後はじりじりと下落し、1.0965でｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：高根・原田

【昨日の指標等】

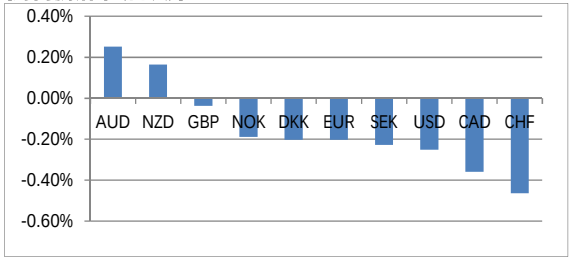
Date	Time		Event		結果	予想
10月3日	10:30	豪	貿易収支	8月	A$5926m	A$6100m
	16:55	独	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	9月	51.4/48.5	52.5/49.1
	17:30	英	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	9月	49.5/49.3	50.3/50
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	8月	0.3%	0.3%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	219k	215k
	23:00	米	ISM非製造業指数	9月	52.6	55
	23:00	米	耐久財受注(前月比)/同(除く輸送・前月比)・確報	8月	0.2%/0.5%	-

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月4日	10:30	豪	小売売上高(前月比)	8月	0.5%	-0.1%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	9月	145k	130k
	21:30	米	失業率	9月	3.7%	3.7%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	9月	0.2%/3.2%	0.4%/3.2%
	21:30	米	貿易収支	8月	-$54.5b	-$54.0b
10月5日	03:00	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.30	1.090-1.1000	116.00-118.00

【マーケット・インプレッション】

前日のドル円相場は軟調推移。アジア時間は中国の連休で米中貿易摩擦問題に関する新たな材料もなく、方向感のない値動き。海外時間、発表されたISM非製造業景況指数は今週発表された同製造業景況指数が低調だったことから注目されていたが、市場予想を大きく下回ったことから、米景気減速懸念によりドル円は下落。
本日のドル円相場の見通しは上値の重い展開を予想。本日は米雇用統計に注目が集まっているが、ADP雇用統計やISM非製造業指数などの米経済指標が低調だったことから、警戒感が高まっており、発表前のドル円相場の上値は限定的なものとなりそう。